

令和元年度(2019 年度)



早おき 職場見学デー



令和元年(2019年)8月1日(木)の午前中、「早おき・職場見学デー」を開催しました。

この事業は、北海道・北海道教育委員会の職員の子どもを職場に招き、保護者が働く姿や道庁施設等を見学し、保護者への感謝の気持ちや親子のふれ合いを深めたり、夏休み中の子どもたちの生活リズムを向上させたりするなど、家庭教育支援の一助となることを目的に平成20年度(2008年度)から実施しています。

職場訪問後は、お父さん、お母さんが働いている北海道庁・北海道教育委員会では、どんな仕事をしているのかを体験しながら楽しく知ることを目的とした体験ブース「やってみよう!知ってみよう!北海道のしごと」を行いました。体験ブースでは、防災ブース、エゾシカ対策ブース、アイヌブース、手話ブース、木育ブース、読書ブースの6ブースで、いろいろな体験をしながら北海道の仕事を学びました。

○ 開 会 式



今年は82名の皆さんが参加してくれました。添田生涯学習局長から「早く寝て、早く起きて、朝ごはんを食べると元気に一日過ごすことができます」と挨拶がありました。今日は早く起きたから、いいことがいっぱいありますね。

たくさんの楽しい思い出つくってくださいね。



○ 職場訪問

続いて、お父さんお母さんが毎日働いている職場を子どもたちが訪問しました。さて、お父さんお母さんは、いつもどんな仕事をしているかな？



上司の人にご挨拶



お仕事で使う
パソコンを操作



もしもし！
電話を体験中



説明を真剣に
聞いています

- 職場（課）ごとに分かれて、働くお父さんお母さんのところを訪問しました。
- 各職場では、子どもたちにお父さんお母さんの仕事の説明をしてくれました。
- 子どもたちは、普段見ないお父さんお母さんの姿を見られました。
- 職場によっては、仕事に関するおみやげを持たせてくれたところもありました。

○ やってみよう！知ってみよう！北海道のしごと

防災ブース、エゾシカ対策ブース、アイヌブース、手話ブース、木育ブース、読書ブースの6つのブースをグループで回りながら、北海道の仕事を体験しました。



- ・防災ブース：防災グッズに触れながら、防災かるたを行いました。
- ・エゾシカ対策ブース：エゾシカの角や皮に触れ、エゾシカストラップをつくりました。
- ・アイヌブース：アイヌ民族の文化に触れ、アイヌ文様の切り絵を体験しました。
- ・手話ブース：手話について学び、実際に手話を体験しました。
- ・木育ブース：「木育の玉手箱」を使って、木の様々な特性を学びました。
- ・読書ブース：エプロンシアターを見て、折るだけでできる簡単豆本をつくりました。

○ 閉会式



「早起き・職場見学デー」は楽しかった？
飯田給与サービス担当課長の声かけに、子どもたちがみんな手を上げました！
夏休み中も、「早寝早起き朝ごはん」を意識して、元気に過ごしてください！

今後、子どもたちの健やかな成長を目指した職場見学・職場体験などの取組が、北海道家庭教育サポート企業等に広がるとともに、北海道全体で「早寝早起き朝ごはん」運動の取組が更に充実することを願っています。

北海道教育委員会では、子どもたちがはつらつとした毎日を送ることができるよう、学校・家庭・地域と連携した「早寝早起き朝ごはん」運動を展開しています。

事業の詳細や資料のダウンロードについては、下記ホームページをご覧ください。

★「早寝早起き朝ごはん」運動のホームページ

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/undou/haynehayaoki.htm>